

特集

# 図書館の使い方

## 物知りへの近道



白山図書館  
図書館研究棟 (B2F~2F)



朝霞分館



工学部分館  
図書館・メディアセンター (1F~2F)



板倉分館

■中国・中国の大学・中国の大学図書館 (第2回)

Yes,  
we are  
open!

# 図書館へようこそ。

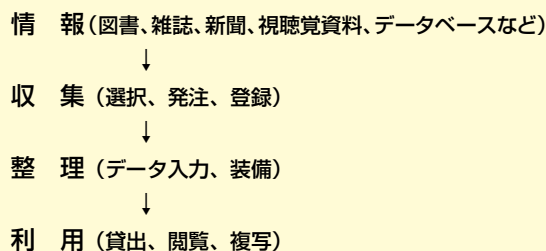
歓迎、  
清進來。

図書事務課長 高野 光代



東洋大学附属図書館の蔵書は4館合計で、約116万冊です。  
(平成14年度末)

## 1. 図書館における情報の提供は下記のようになっています。



図書館は情報の送り手から受け手への橋渡しとなる流れの中で、さまざまなスキルを駆使しています。そして扱う情報は、時代の変化に対応して媒体も含め大きな変化を伴っていますので、業務改善のため、研修と問題解決の日々です。

図書館は、カリキュラムに即した収集はもちろんの事、大学生という時期、人間形成に必要な図書、研究用の資料を収集しています。更に、個々の大学図書館は個性的な蔵書を形成するための方針を持ち、資料を選んでいきます。大学の財産であるこの多様な蔵書を是非、上手に使ってほしいものです。

## 2. サービスの提供

- ・レファレンス(利用に関する相談の受付)
- ・グループ学習室
- ・購入希望図書受付
- ・機関誌の発行
- ・検索指導 など

これらは各館の利用案内パンフレットで詳しく説明していますので、一読をお勧めします。また、4月～5月にかけて図書館ツアー、ガイダンスがあります。これに参加して一挙に図書館利用の上級者レベルになるのもいい手です。

## 3. 利用のパターン

- ・ゼミの課題をグループ学習室で討論しながら仕上げる
- ・卒論関連論文をデータベースで網羅的に探す
- ・他大学所蔵の文献を取り寄せる
- ・新着雑誌で見たい記事を探す
- ・今日の新聞を数紙チェックする
- ・授業の合間になんとなくぶらぶら書架の間を見て歩く
- ・CD、DVDを視聴する
- ・小説が読みたくなって文庫本を借りる
- ・就職のため会社情報を集める
- ・資料の探し方がわからないので図書館員に聞く などなど

お勧めは心地よい緊張感の漂う館内を、資料を見ながら散策する事です。蔵書のほぼ90%は直接手にとって見て、選べます。

## 4. 図書館という空間

劇作家の別役実氏は「図書館というものは…文明全体をなごませる役割を果たしているのかもしれない。」(「図書館雑誌」96巻10号、2002年10月)と言います。図書館は心の栄養です。利用の仕方は一人一人がアレンジしてみてください。図書館は利用する人が快適に時間を過ごせるよう環境を整えています。

そして、利用の際は、公共の場としてのマナーを、当然のことですが、身に付けてくださるようお願いいたします。


## 5. 最後に、図書館は学内の方々以外に卒業生、他大学の教員、学生、地域の方、研究者と多くの利用者がいます。必ずIDカード(学生証、身分証明書)をお持ちください。

その他図書館からのお知らせは、前述の各館作成「利用案内」の外、ホームページ、掲示、カレンダー、OPAC画面下の通知事項をご覧ください。

## 1. 図書を探す

### OPAC検索

※学外からもアクセス可能です。  
資料を効率よく探すには、OPAC(利用者用オンライン目録)が便利です。

 [図書館ホームページ→所蔵検索]

### 1. 検索語の入力



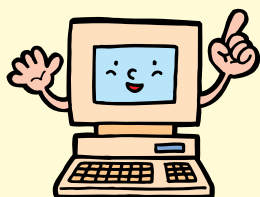
資料名がわかっている場合は、そのまま入力。はっきりしない場合は上図のように単語の形で入力するのがもれなく検索するコツです。  
また、複数の単語を入力することもできます。その場合は単語間にスペースを入力します。

例、「日本 アメリカ」(書名に両単語とも含まれる資料を検索)

### 2. 書誌一覧画面



検索語を入力し実行キーを押すと、検索結果が一覧表示されます。この中から必要な資料を選び、クリックします。



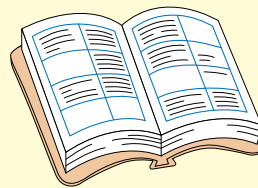
### 3. 書誌詳細画面



選択した資料の詳細な書誌と所蔵情報が表示されます。

- 所蔵館……その資料を所蔵している図書館です。
- 配置場所…図書館のどの階・コーナーにあるかを示します。
- 請求記号…資料の背に貼られているラベルの記号で、これをもとに資料を探します(5頁「請求記号」とは?参照)。メモしてください。
- 状態……その資料が書架にあるか貸出中かが表示されます。

自館の資料が書架にある場合は請求記号をメモして書架に行けば資料を探せます。  
自館の資料が貸出中だったり、他館の資料の場合は、「予約依頼を行う」を選択すれば、予約や取り寄せができます。



## 予約依頼

自館の貸出中の資料を予約したり、他館の資料を取り寄せることができます。(図書資料のみ)

### 1. 資格審査画面



予約依頼をする時は、パスワードを入力する必要があります。初めての利用者は学生証を持ってカウンターでお尋ねください。

## 2. 予約依頼申し込み画面



予約を希望する資料の右側ボックスをチェックして予約申込ボタンをクリックしてください。所属キャンパスの図書は、貸出中以外は予約の申込みはできません。所属キャンパスとは、メインに通学しているキャンパスです。受取希望館も、必ず所属キャンパスとなります。他館で受け取りたい場合は、カウンターにお問い合わせください。

## 3. 予約依頼確認画面

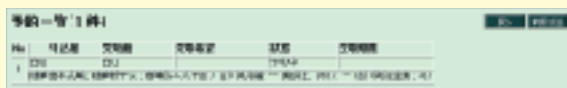


最後に「予約決定」をクリックして予約は完了です。再び検索してみると、予約をした資料の右はじに予約件数が表示されています。

## 予約した資料の受取



資料が届いたかを確認するには、OPAC 検索画面左上の「利用問い合わせ」ボタンをクリックします。利用者IDとパスワードを入力し、予約（予約棚）件数の「一覧を確認する」をクリックすると予約一覧の画面が開きます。



状態を確認して「予約棚」となったらカウンターで貸出手続きをしてください。取り置き期間は約1週間です。

## OPACで見つからない場合

### ■山手線沿線私立大学図書館コンソーシアムの所蔵を調べる

☞ [図書館ホームページ→コンソーシアム]

8大学（青山学院大学、学習院大学、國學院大学、東洋大学、法政大学、明治大学、明治学院大学、立教大学）の所蔵を検索できます。また、加盟大学各図書館の入館利用や相互貸借ができます。ホームページで利用条件を確認しましょう。

### ■他大学図書館の所蔵を調べる

大学図書館における所蔵を調べる方法として、NACSIS Webcatがあります。

☞ [図書館ホームページ→リンク→所蔵目録(国内)→NACSIS Webcat]

さらに見つからない場合、公共図書館、国会図書館のOPAC等で調べましょう。

## 分類記号表（『日本十進分類法9版』より一部変更）

0門	320 法律	650 林業
000 総記	330 経済	660 水産業
010 図書館	340 財政	670 商業
020 図書、書誌学	350 統計	680 運輸、交通
030 百科事典	360 社会	690 通信事業
040 一般論文・講演集	370 教育	
050 逐次刊行物、年鑑	380 風俗習慣、民俗学、民族学	7門
060 学会、団体、研究調査機関	390 国防、軍事	700 芸術
070 ジャーナリズム、新聞	4門	710 彫刻
080 叢書、全集、選集	400 自然科学	720 絵画、書道
090 東洋大学関係	410 数学	730 版画
	420 物理学	740 写真、印刷
	430 化学	750 工芸
1門	440 天文学、宇宙科学	760 音楽、舞踊
100 哲学	450 地球科学、地学	770 演劇、映画
110 哲学各論	460 生物科学、一般生物学	780 スポーツ、体育
120 東洋思想	470 植物学	790 諸芸、娯楽
130 西洋思想	480 動物学	
140 心理学	490 医学、薬学	8門
150 倫理学、道徳	500 技術、工学	800 言語
160 宗教	510 建設工学、土木工学	810 日本語
170 神道	520 建築学	820 中国語、東洋の諸言語
180 仏教	530 機械工学、原子力工学	830 英語
190 キリスト教	540 電気工学、電子工学	840 ドイツ語
	550 海洋工学、船舶工学、兵器	850 フランス語
2門	560 金属工学、鉱山工学	860 スペイン語
200 歴史	570 化学工業	870 イタリア語
210 日本史	580 製造工業	880 ロシア語
220 アジア史、東洋史	590 家政学、生活科学	890 その他の諸言語
230 ヨーロッパ史、西洋史	6門	9門
240 アフリカ史	600 産業	900 文学
250 北アメリカ史	610 農業	910 日本文学
260 南アメリカ史	620 園芸、造園	920 中国文学、東洋文学
270 オセアニア史、南極地方史	630 畜産業	930 英米文学
280 伝記	640 畜産業、獣医学	940 ドイツ文学
290 地理、地誌、紀行		950 フランス文学
		960 スペイン文学
3門		970 イタリア文学
300 社会科学		980 ロシア・ソヴェト文学
310 政治		990 その他の諸文学

# 図書館の使い方 物知りへの近道

## 2. 雑誌の記事や論文・新聞記事を探す


※学外からのアクセスはできません。

### 1 MAGAZINEPLUS

(国内の雑誌に掲載された記事、論文の検索)

国内最大の雑誌・論文情報データベース

<雑誌記事索引ファイルを完全収録>


 [図書館ホームページ→データベース→MAGAZINEPLUS]  
8頁 参照

#### 【検索データ例】

- ① 国立国会図書館所蔵・雑誌記事索引(1975～)
- ② 記念論文集(1945～1998)
- ③ 一般論文集(1945～1998)
- ④ シンポジウム・講演集(1945～1998)
- ⑤ 学会年報・研究報告(1945～1995)
- ⑥ 一般誌・総合誌・ビジネス誌(1981～)等

### 2 DNA (Digital News Archives for Library)

(朝日新聞社のオンラインデータベース)

 [図書館ホームページ→データベース→DNA]

- ・1985年以降から当日の朝刊記事まで閲覧可能
- ・各都道府県庁所在地(沖縄を除く)の地方版や週刊誌『AERA』『週刊朝日』に掲載された記事の検索が可能

### 3 日経テレコン21

(日経四紙の記事および各種経済統計の検索)

- ・1975年以降の日本経済新聞・日経産業新聞・日経流通新聞・日経金融新聞の全文記事検索
- ・企業情報や人事情報(日経Who's Who)、株価指数・為替(チャート・時系列表)等経済統計の検索

### 4 FirstSearch

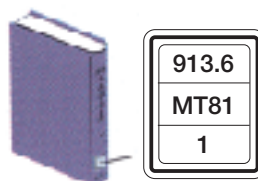
世界各国の大学や研究機関で構成されたライブラリーサービス機関「OCLC(Online Computer Library Center, Inc.)」が提供している学術情報データベース

- ・世界中の学術資料の書誌情報や電子ジャーナルの全文記事の検索

オンラインデータベースは4キャンパスで  
取扱いが異なります。  
カウンターで確認してください。

## 「請求記号」とは?

「請求記号」とは特定の資料を識別し、位置を示します。本はラベルのこの記号順に並んでいます。本を探すときは「請求記号」を目印にすると探しやすくなっています。例えば、検索用パソコンで読みたい本を見つけたときは画面に表示された「請求記号」をメモして、書架へ探しにいくといいでしょう。図のように「請求記号」は3段に分けてあり、OPAC画面では[上段：中段：下段]の順に表示されています。



※ラベルの色は各キャンパスの図書館で異なります。

上段…①分類記号  
中段…②著者記号  
下段…③順位記号

①分類記号……「日本十進分類法(NDC)」という分類法を使い、主題別に決められた数字が付いています。

※参考図書の場合は数字の前に「R」、和雑誌は「Z」、洋雑誌は「P」がそれぞれ付いています。

②著者記号……主に著者のイニシャルから成ります。現在ではその後に「日本著者記号表」から取った数字が付きます。

例)・「川端 康成」→KY91

・「坂口 安吾」→SA28・「Rowling, J. K.」→RJ78

※著者が団体の場合は団体名最初の文字のアルファベットが付き、雑誌の場合は雑誌名最初の文字のアルファベットが付いています。

③順位記号……シリーズで刊行された本の場合、その巻数を表示したり、刊行された年を表示する場合があります。

大切なことは本が主題別に分類され、記号順に並んでいるということです。並び順については、『分類記号の昇順』、同じ分類記号の場合は『著者記号のアルファベット順』、さらに、シリーズなどで複数冊に出版された本は『順位記号の昇順』に並んでいます。

請求記号は「本の住所」です。請求記号を活用することは資料検索の時間短縮にもなり、学習の効率アップにもつながります。

※ 請求記号の例外

文庫・新書、軽読書、視聴覚資料や未製本雑誌は各キャンパスの図書館で異なりますので注意してください。

## 参考図書とは？

Reference booksとも言われ、何かを調べるために、必要なときに必要な項目を参照するために使う資料のことです。通常、調べやすいように、各項目が五十音順（あるいはABC順）や一定の体系順に並んでいます。また、調べたい項目にすぐに行きつくよう、巻頭や巻末に事項索引、キーワード索引、人名索引などが付けられています。

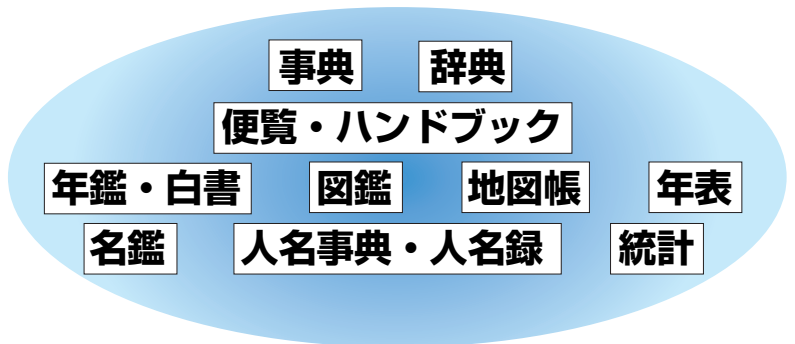
### 1. どんな種類があるの？

大きく分けると、2種類あります。ひとつは、求める情報の存在や内容、所在を探すための案内型、もうひとつは、求める情報そのものを直接探すための回答型です。それぞれ具体的な種類は図のとおりです。

#### <案内型>



#### <回答型>



### 2. 参考図書はこんなふうに使くと便利！



一般的なことだけど、これは何のこと？

そんなときは

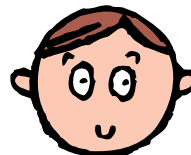
**百科事典**…いろいろな分野の事柄の一般的な学説や定説を知り、物事の全体像を捉えるのに適しています。何かわからないことがあったら、まず百科事典を調べれば、だいたい知識を得ることができます。しかし、専門的な事柄、ごく最近の事柄を調べるときには適していません。そのときは、各分野の専門事典や時事用語辞典(『現代用語の基礎知識』、『imidas』、『知恵蔵』など)を活用してください。



就職活動中なのですが、この企業はどんな会社なの？

そんなときは

**名鑑**…企業、団体、機関などの住所や電話番号、設立目的、役員、資本金、経営情報などが記載されているので、企業の概要を知ることができます。



卒論の資料を探しています。前に見た雑誌の記事が見たいけれど、どうやって探せばいいかな？

そんなときは

**雑誌記事索引**…雑誌記事を探すための基本的な索引です。現在はデータベースを活用すると便利です。例えば、国立国会図書館の新しいオンライン蔵書目録 (NDL-OPAC) で学術雑誌、大学紀要などを論題名や著者名から探すことができます。(8頁参照)

そのほかにもCD-ROMやオンラインで国内外の所蔵目録へリンクしてみてください。

本学4キャンパスの図書館には多くの参考図書を所蔵しています。わからないことがあれば、各キャンパスの図書館員に尋ねてください。参考図書を自由に使いこなせば、皆さんも図書館の物知り博士です！



**注意!** 参考図書は個人が長期的に利用することを目的としていないので、貸出禁止です。目印は、請求記号の頭に「R」が付いています。

# 中国・中国の大学・中国の大学図書館

(第2回)

法学部企業法学科 教授 笠原 俊宏

さて、清華大学、厦門大学、大連外国語大学、また、これらの図書館を見学して感じたことを思い付くままに書かせて頂きたい。とはいいいながら、いずれの図書館もその目的・機能において基本的には違いはないというのが兼ねてからの思い込みである。強いていえば、大学図書館と呼ばれるものには学術関係の専門図書・資料が比較的に多く、また、近時、殊の外電子化に力が注がれている点にその特色が見られるほか、そこには心なしか澁刺とした空気が漂っている。各大学の事情により、その建物の規模・施設や蔵書冊数に違いはあっても、私が抱く上記のような固定観念がそれら三大学との関連においても必ずしも筋違いであるとは思われない。しかし、一見単純な差異が何やら各大学の現状を象徴しているように思われることも事実である。

清華大学は中国の大学の頂点に位置する大学であると多くの中国人が言う。米国の大学・研究機関で優れた業績を上げた中国人研究者を破格の年俸をもって招聘したとの話題も同大学の意気込みの程を感じさせるものである。近時は文科系の充実も図られているが、元々は理科系の名門として知られた大学であるという自負もあろう。勿論、図書館の電子化も進んでいる。北京・海淀区は数多くの大学が集中する地区であるが、同大学は大学関係のサーバーが置かれた場所であり、その面でも中心的役割を演じていると聞く。多くの気鋭の研究者が最新の設備に満たされた広大な校地で躍動していることが実感される。

厦門大学は福建省ないし華南を代表する総合大学であり、いわゆる国家教育部重点大学である。図書館への先端技術の導入に向けられた努力はここでも例外ではない。しかし、学外者の目に映る同大学の図書館の特色はむしろその収書の面にある。海外に飛躍した華僑からの財政的援助に加え、数多くの図書・資料の寄贈が同大学図書館の創設・発展の礎となっている。海外への飛躍が県(省)民性となっている地の中心的大学図書館としては当然の結果であるというべきであろう。米国や豪州の在住者からの支援もあるが、やはり、シンガポール、香港、台湾等のそれが多い点に眼が惹かれる。とりわけ、東南アジア、台湾関連の図書・資料が多く収蔵されていることもそれに呼応している。

さて、一転、北の大連外国語大学は地元の人々の謙虚な言葉によれば「地方の大学」である。しかし、「大外大」の通称で親しまれた「地方の大学」は遼寧省の重点大学であり、同大学の日本語学院は中国での最大の日本語研修地となっている。国費留学生として渡日する前の優秀な若手研究者が同大学で半年ないし1年間に亘り日本語に磨きを掛けた後、日本へ向けて船出する。かくして、戦前、戦後に亘り、大連と日本との関わりは実に深い。大連全体の眼

が常に日本に向けられているといっても過言ではないであろう。翻って、同大学の図書館はどうか。今は姿を消した東本願寺の向かいの小高い場所にそれは在る。図書・視聴覚館と訳されようか、7階建てビルの内部の大部分は教室のような空間になっていて、備品類も何やら質素な感じがする。学生が利用するパソコン等は一カ所に集められ、財政面の節約が図られているようにも見られる。日本語学科の分室もあるとは聞いたが、本館における日本語文献は意外に少ない。その一角で、東洋大学井上円了研究所寄贈と表示された書籍が、その数も余り多くないのに上等なガラス戸付きの本棚を占領している。それを眺めて少し気恥ずかしい感もするが、やはり嬉しい気持ちの方が勝る。

この取り留めのない雑文もいよいよ紙幅が尽きようとしているが、何やら竜頭蛇尾になってしまったような気がしないでもない。三大学を垣間見て得た雑感は色々あるが、中国の諸大学も恐らくはかつての政府による厳格な管理から脱して、独立化・個性化への変容を模索しているものが増えているように思われる。それらの中でいわゆる全国区の大学の活気にはさすがに瞠目すべきものがあるが、残念ながらそれらの大学が熱い眼差しを向けているのはどうも日本ではなさそうである。太平洋を渡った先に在る米国である

というのが現実であろう。しかし、わが国と中国との一衣帯水の間柄に変わりはないことも事実である。さて、大学図書館に大学の姿を見ることができるとしたならば、わが東洋大学図書館は学外者や留学生の眼にはどのように映っているのだろうか。清潔で落ち着きがあり、家庭的な心地良さが溢れているというのが、私が常々抱懐するところである。従って、それがまた東洋大学の校風でもあると続けて言うのは我田引水というものであろうか。



▲大連外国語大学図書電教館



◀図書館所蔵の本学発行図書  
東洋大学井上円了研究所贈

笠原 俊宏  
(かさはら としひろ)

前図書館長  
前中国語セミナー実行委員長  
中央大学大学院法学研究科  
博士後期課程満期退学  
(専攻：国際私法)

著書：『国際家族法要説』(高文堂出版社)、  
『国際私法立法総覧』(富山房) ほか



## MAGAZINEPLUSと東洋大OPACを リンクしました

MAGAZINEPLUSの検索結果と東洋大OPACの所蔵検索結果がリンクされました。

### MAGAZINEPLUSとは

雑誌記事情報625万件に加え、戦後国内の学術雑誌が刊行した人文社会系の年次研究報告や学術論文集8,000冊、45万件の論文タイトル情報を加えた、総計670万件にのぼる国内最大の雑誌・論文情報データベースです。

必要な情報を記事名/論題名、キーワード、著作者、雑誌名、刊行年月日などから簡単に検索ができます。



図1



図2

キーワード・著者名・雑誌名などから検索(図1)した結果を詳細画面(図2)で表示される東洋大OPACをクリックするとOPACを自動検索するので、該当する論文(掲載されている雑誌)が学内で所蔵されているかを確認することができます。

東洋大OPACのウィンドウが開きます(図3)。このときすでに書誌一覧が表示されますので該当する雑誌のタイトルをクリックして書誌詳細画面で所蔵館・巻号を確認してください。

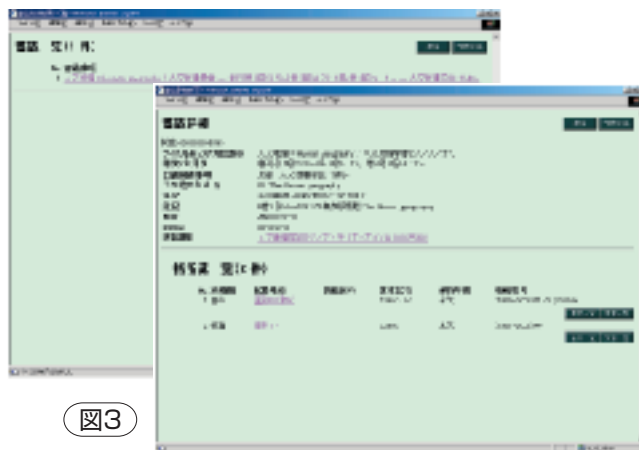


図3

### ★注意事項

このサービスは雑誌に付与されたISSN(国際標準逐次刊行物番号)によってリンク付けされています。ISSNが付与されていない雑誌及び学術論文集などは、本学で所蔵していても【東洋大OPAC】の表示ができません。また、リンクが表示されていない場合でも所蔵されている場合がありますので直接OPACで確認してください。